

日中国際共同研究成果講演会

土井ヶ浜遺跡
人類学ミュージアム
The Doigahama Site
Anthropological Museum

人類学から迫る 古代長江流域の稲作農耕民

平成 29 年 2 月 18 日 (土)

開場 10:00 講演 10:30-16:30

下関市教育センター 3 階大研修室

講師

岡崎健治 (鳥取大学医学部)

陳 傑 (上海博物館)

米田 穰 (東京大学総合研究博物館)

菊池大樹 (京都大学人文科学研究所)

高椋浩史 (土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)

参加費

無料 ○事前申込みが必要です。(定員 100 名、申込み先着順)
○申込み期限：平成 29 年 2 月 15 日 (水)

申込み お問い合わせ

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

TEL. 083-788-1841

FAX. 083-788-1843

*お申込みの際、参加希望の旨と、お名前、ご住所、お電話番号をお伝えください。

主催 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
下関市教育委員会

文部科学省科学研究費新学術領域研究 (研究領域提案型) 稲作と中国文明—総合稲作文明学の新構築—

共催 文部科学省科学研究費基盤研究 (C) 中国新石器時代長江下流域における農耕適応戦略の自然人類学的研究

人類学・考古学の専門家が 東アジアの初期稲作農耕民 の実像に迫る

○上海市広富林遺跡から出土したアジア最古の結核症例

岡崎健治 (鳥取大学医学部)

○考古学的発見からみた先史時代の上海

陳傑 (上海博物館)

○骨の化学分析で見えてきた中国新石器時代の稲作農耕と雑穀農耕

米田穰 (東京大学総合研究博物館)

○中国新石器時代長江下流域における人と動物のかかわり

菊地大樹 (京都大学人文科学研究所)

○人骨からみた広富林遺跡の新石器時代人のカラダの特徴

高椋浩史 (土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)

広富林遺跡とは？

広富林遺跡は、中国上海市松江区で発見された新石器時代の遺跡です。広富林遺跡からは、新石器時代の崧沢文化期から良渚文化期（紀元前3900年～紀元前3200年）の人骨が数百体出土しました。その他にも動物骨や植物の炭化物など、長江流域の初期農耕の実態を知る上で重要な発見がもたらされました。

日本を含む東アジアの稲作のルーツは、中国長江流域の新石器時代にあることがわかってきました。長江流域ではじまった稲作は数千年の時を経て日本列島に達し、その後の日本の文化に大きな影響を及ぼしました。その影響は文化だけではありません。土井ヶ浜遺跡から出土した300体にもものぼる弥生時代人骨は、それまでの縄文時代の人骨とは全く異なる形質をしています。彼らは稲作技術を持った大陸からの渡来人の遺伝的影響を強く受けた人達だと考えられています。

日本の稲作のルーツの地、長江流域にはどのような人々や文化が存在していたのか？

この疑問を解決することは、日本の稲作文化や日本人のルーツの解明につながります。

2014年から日本と中国の研究者が共同で、中国上海市にある広富林遺跡から出土した新石器時代の人骨の調査を進めてきました。今回の講演会では、その研究の成果について人類学・考古学の専門家が紹介します。



会場（下関市教育センター）へのアクセス

■公共交通機関をご利用の場合

(JRをご利用の場合) 幡生駅から徒歩約15分

(バスをご利用の場合) 「汐入町」バス停から徒歩約5分



■お車をご利用の場合

教育センター内に無料駐車場（150台）がございます。

